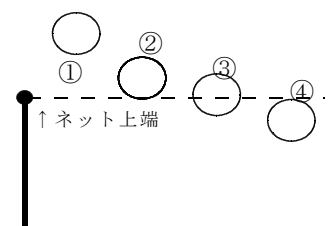


バレーボールテスト①解答

1. 次の文章に「正しいものには○を正しくないものには×」をつけなさい。

- (1) チームキャプテンは、必ずスターティングラインナップにはいる。×
- (2) ゲームキャプテンがコートから出た場合は、新たにゲームキャプテンを申告する。○
- (3) サーブをトスしたが、タイミングが合わないので、手を触れずにボールを床に落とした。この場合、もう一度だけ打つことができる。×
- (4) サーブは、5秒以内に打たなければならない。× **8秒**
- (5) 主審のホイッスル前にサーブを打ったら、ネットに引っかけてしまい自コートに落ちた。相手チームにサーブ権がうつる。×
- (6) 主審に質問ができるのはチームキャプテンだけである。× **ゲームキャプテン**
- (7) アンテナ外のロープに身体が触れても反則ではない。○ **故意による妨害行為はダメ**
- (8) プレー中にボールが自分の足首に当たってしまい、そのままネットを越えて相手コートに入ったが、これは反則である。×
- (9) 相手コートからの第1球目のレシーブ・パスについては、キャッチという反則は一切なくなった。× **ダブルコンタクト**
- (10) 両チームの2人のプレーヤーがネット上で同時にボールを打った場合は、ボールが落ちた反対側のプレーヤーが最後に触れたものとみなされ、ボールが入ったコートチームは再びプレーができる。○
- (11) 同一チーム2人のプレーヤーが同時にボールに触れた場合は2回タッチしたものとして数えられる。ただし、ブロックは除く。○
- (12) 味方の肩に手をかけてジャンプし、ボールを相手コートに打った。× **反則**
- (13) ブロックはオーバーネットが許されるので、相手トスをブロックしてポイントした。×
- (14) アンテナ外のネットにボールが触れてもプレーは続けられる。×
- (15) ボールがプレーヤーの手・腕などで静止したり、ボールをすくったり、ボールにフォローするようなプレーはダブルコンタクトとみなす。× **キャッチ**
- (16) 相手のレシーブボールがネット際に飛んできたのでブロックをしたら、ネットにボールをかけてしまい、自コート上に落ちてきたので、続けてボールを触って味方につなげた。○
- (17) ボールがネット下の垂直面を完全に通過したらアウトボールとみなされる。○
- (18) ボールが当たってふくらんだネットに触れた。反則ではない。○
- (19) 右の図でバックプレーヤーは、フロントゾーンで②と③の位置のボールを相手コートに返せる。× **③④のみ**
- (20) アンテナ外のネットに身体が触れても反則ではない。○ **故意に揺らすことはダメ。アンテナとアンテナの間がネット**



月	日実施	名前	正解数	/ 20
---	-----	----	-----	------

バレーボールテスト②解答

2. 次の文章に「正しいものには○を正しくないものには×をつける」か「空欄に適語を補う」か「言葉を選択して」文章を完成させよ。

- (1)バックプレーヤーが、ブロックに参加してしまってもブロックが完成しなければ反則ではない。
○参加した他のブロッカーにボールが当たったらダメ。
- (2)試合開始時刻に20分以上遅れたチームはその試合を没収される。○
- (3)副審をやるときに注意をすることは、ボールを目で追うこと・追わないことである。
主審はボールを追ってしまうので、副審が目を残すことが大事。
- (4)公式練習は合同で6分間にすることもできる。○
- (5)リベロプレーヤーが、フロントゾーンでオーバーパスでトスを上げ、それをネットより上でアタックヒットした。×
- (6)ホイッスルの鳴った瞬間、サーバー以外の人コートの外にいても反則ではない。
○サーブを打った瞬間はダメ→ポジショナルフォルト
- (7)ベンチに入れる最大の人数は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、プレーヤー 14 (含むリベロ2)名である。★13+リベロ1はダメ
- (8)先発メンバー1番と交代メンバー10番が交代した。1番は、10番とのみ交代して再出場することができる、できない。
- (9)主審に質問できるのは、監督・チームキャプテン・ゲームキャプテン・コーチである。
- (10)タイムアウトを要求できるのは、監督・チームキャプテン・ゲームキャプテン・コーチである。
- (11)コートチェンジはセット毎に行われ、最終セット(25点マッチの場合)は 13 点を取得したときに自動的にチェンジする。ちなみに、15点マッチの時には、8 点である。
- (12)各チームはセット毎に 2 回のタイムアウトをとることができる。時間は 30 秒である。
- (13)各チームはセット毎に最高 6 回のメンバーチェンジができる。その際、交代プレーヤーは 監督・主審・副審 に申し出る。
- (14)アンテナ外のロープにボールが触れたら、ボールデッドである。○
- (15)ゲーム中ケガ人のために 3分間のタイムアウトが許される。そして、このタイムアウトは1回に 数える・数えられない。(レフェリー タイムアウト)
- (16)各セット間のインターバルは、3 分間である。
- (17)誤って3回目のタイムアウトを要求してしまった。これは、認められる・認められない。その判断をするのは、主審・副審である。
- (18)副審は、ボールに関する反則(例えば、ダブルコンタクト)をとっても 良い・良くない。

月 日実施

名前

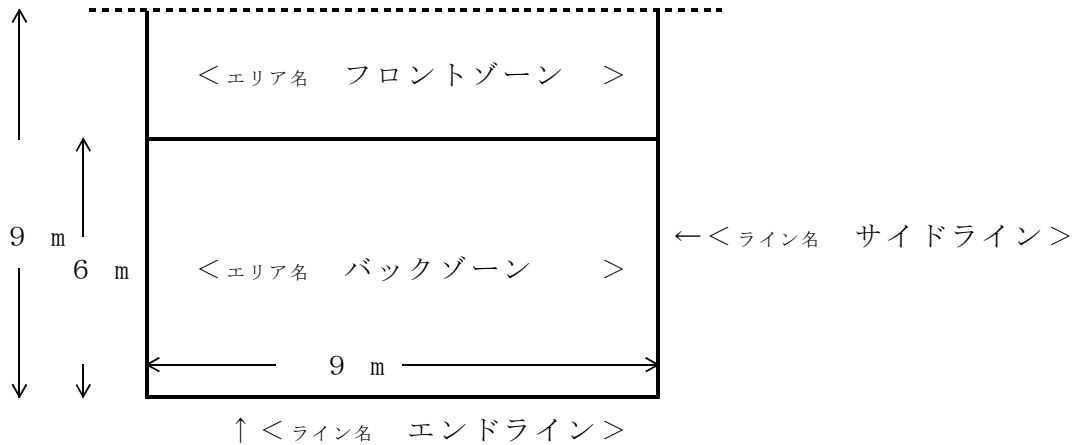
正解数

/ 18

バレーボールテスト③解答

3. 次の「空欄に適語を補うか選択して」文章を完成させよ。

(1) コートの名称と長さを記入せよ。



(2) ラインの幅は、5 cmである。

(3) ラインは、コートの大きさに含まれる・含まれない。だから、ネットにつけるアンテナは、ラインの外・内側にあわせる。

(4) ゲーム中に支柱に触ってしまった。これは、反則である・反則ではない。

(5) リベロプレーヤーが、フロントゾーンで上げた（オーバーパスによる）トスをセッターがツーで返してしまった。これは、反則である・反則ではない。

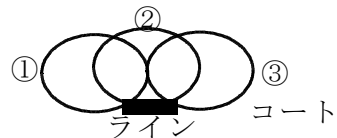
(6) リベロプレーヤーの交代回数には、制限がある・ない。

(7) センターライン上に手をついてしまった。これは、反則である・反則ではない。

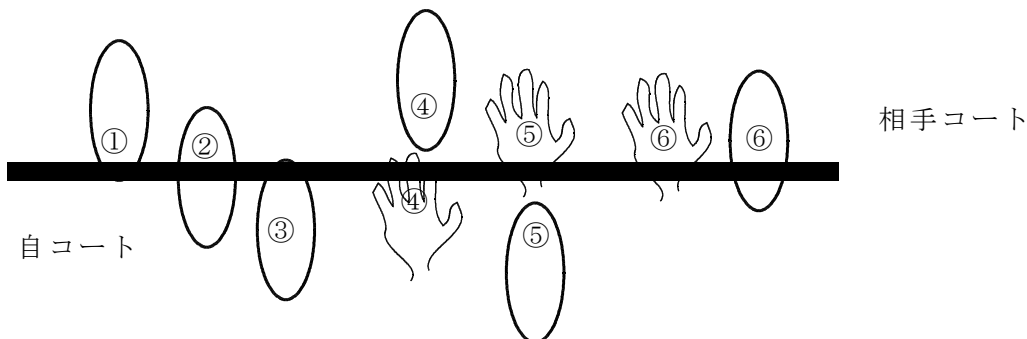
(8) 相手コートの選手の足をわざと踏んでやった。これは、反則である・反則ではない。

(9) レシーブミスをかばいしようとしたら、手に2度当たってしまった。これは、反則である・反則ではない。

(10) 次の図で、ボールアウトなのは、①である。



(11) 次の図で、ペネストレーションであるのは、④である。



月	日実施	名前	正解数	/ 11
---	-----	----	-----	------

バレーボールテスト④解答

4. 次の文章に「正しいものには○を正しくないものには×をつける」か「空欄に適語を補う」か「言葉を選択して」文章を完成させよ。

(1)次の中で、タッチネットになるのは、①③④である。

- ①ブロックの時にシャツがネットに触れた。
- ②ボールは来なかったがブロックに飛んで、ネット上部の白帯に触れた。
- ③ネットを利用して身体を止めた。
- ④ブロック後に振り返ったときに髪の毛があたった。

×②ボールと関係ない場合は、反則にならない。

(2)リベロプレーヤがチームの中心選手なので、ゲームキャプテンにしている。

○2022年～新ルール

(3)チームキャプテンを必ずゲームキャプテンとしなければならない。×

(4)靴のヒモがほどけたので、結んでいたら主審に笛を吹かれてしまった。主審は、待つてくれるべきである。×待つのはお情け

(5)相手コートに向かって、ガッツポーズをしてしまったら、やはり主審に注意をされた。主審の判断は、おかしい。×威嚇行為はダメ

(6)リベロプレーヤがラストボールを打ち返そうとした。ネットより下のボールだったので、反則ではない。○

(7)相手が打ったボールでネット上部の白帯がふくらんで、タッチネットをしてしまった。ポイントを取られた。×

(8)相手がサーブを打つ前に、ラインの外に足を出していたが、反則ではない。○

(9)ブロックをしようとして、ネットの下の部分を触ってしまったが、タッチネットをとられない。

×ルール改正

(10)リベロとの交代を忘れていたので、サーブを打った後すぐに交代した。

×プレー中はダメ

(11)サーブレシーブの時に、正対するのは 相手サーバー・自セッター である。

(12)セッターの左足は、(自分の前にいる)スパイカーのいる方向に向けることが基本。○

(13)バックセッターであったが、穴があったのでネットの上からツーンを出した。×

(14)スパイクを打った後にネットの網の部分に触ってしまった。タッチネットである。○

(15)ライトプレーヤーが、サーブレシーブの時にレフトだったのでボールを見ないで急いでライトに移動した。×

(16)控えの選手は、ベンチのすぐ隣に立っているのが正しい。×原則はフリーゾーン

(17)二段トスを上げたら、ボールがきれいにグルグル回った。反則ではない。×ダブルコンタクト

(18)私はマネージャーなので、練習中は扇風機の前で涼んでいる。×ふざけんな!

(19)練習中に麦茶を飲むのは、ポカリスエットが高価だからという理由だけである。

×麦茶には体温を下げる作用があり、カフェインが含まれない。少量の塩を入れるとなお良い。

(20)熱中症が怖いので、給水をマメに取った方がよいが、休憩でないときには迅速に動くようにしている。○

月

日実施

名前

正解数

/ 20

バレーボールテスト⑤解答

5. 次の文章に「正しいものには○」を「正しくないものには×」をつけなさい。

(1)リベロもゲームキャプテンができる。

○2022年からの新ルール

(2)サーブの助走をサービスゾーン外側から始めてはならない。

×打った瞬間に外側にはいてはならない

(3)自分たちのコートに飛んでくるボールをオーバーネットして片手でブロックした。

×片手では攻撃と見なされる場合があるので、ネットを超えない場合にはダメ

(4)リベロがトスを上げたがアタックラインを踏んでいたため、アンダーハンドパスで返球した。

○

(5)リベロがトスを上げたがアタックラインを踏んでいたため、ネット上からオーバーハンドパスで返球した。

×ネット上からはダメ

(6)ボールデッドの間に、リベロとリベロの交替を行った。

○

(7)センタープレーヤーがサーブを打ち終わった後にリベロと交替し、コートの中にとりリベロとセッター対角が交替した。

×従来の2組同時は不可となり、1回目から反則

(8)キャプテンがフロアの汗を拭いていたため、副キャプテンが審判に質問に行った。

×質問はゲームキャプテンのみ

(9)監督の先生の長ズボンにお茶をこぼしてしまったため、自分のハーフパンツを渡してベンチに座ってもらった。

×監督はスラックス着用が必須

(10)ブロックした時アンテナに触れてしまったが、白帯上端ではないため反則ではない。

×ルール改正

(11)公式練習の時寒かったため、ジャージをはいていた。

×

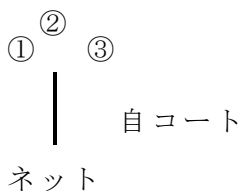
(12)ソックスを忘れたため、コンビニでくるぶしが出る短い物を購入して使用した。

×反則ではないが、マナーの関係で履かないように努めること

(13)「給水のためのテクニカルタイムアウト」は、水分をとりながら監督の指示を聞く絶好のチャンスである。

×水分補給だけのタイムなので、フリーゾーンでとり、監督コーチの指示を聞いてはいけない。

(14)カットミスでネットのそばに上がった次のボール①～③は、どの位置まで触ってよいか。



③のみ。②は、主審の判断による。

(15)逆に、相手コートでのミスで上がったボール①～③は、どの位置まで触ってよいか。

③のみ。①②は、ボールの勢い主審の判断による。

(16)記録用紙は、すぐに書き直しができるように、シャープペンで記入して良い。

×書き直しができないような筆記用具で書くこと。

(17)副審をやったが、主審のフォローをする意味で、主審の後を追うようにボールを追うことに努めた。

×ボールを追ってはいけない。

(18)副審をやったが、ブロッカーが落下しながらタッチネットをすることが多いので、目をそこに集中させた。

○ボールを追ってはいけないし、ワンタッチもよく見ること。

(19)サーブを打つときに、サーバーを隠すように前衛で立っていた。

×スクリーンという反則。ボールのコースが相手チームに見えないように妨害してはならない。

(20)ラインズをやったが、負けてすぐの試合なので集中できなかった。

×負けると審判につくことが多いが、競技をしているチームのために真剣にやること。

月	日実施	名前	正解数	/ 20
---	-----	----	-----	------